

第50回

全日本空手道選手権大会



■早田 信 代表(右)

■内柴 宏嗣 副代表(左)

■早田代表・内柴副

代表全日本大会 出場

■大会リポート

内柴 宏嗣 副代表

早田 信

40歳代 無差別級 準優勝

内柴 宏嗣

50歳代 無差別級 ベスト8

破壊力のある突きで相手を圧倒し、順調に勝ち上がる。

準々決勝で、昨年の王者と対決。前半は相手が立っていられないほど圧倒するも、後半は試合巧者の王者と打ち合う状態になり、僅差判定で相手の勝利となった。

勝った相手は次の試合では内柴副代表のダメージから本来の動きを発揮できず敗退。

内柴副代表は敗退はしたが、ポリシー通り「試合には負けるが、勝負には勝つ」を体現した試合だった。

次回の全日本にも期待。



大会リポート

早田 信 代表

1回戦・2回戦は、他流からの強敵を突きと下段廻し蹴りで圧倒し、相手を倒す場面も。

準決勝は、東京の名門 佐藤道場の選手と対決。疾く強い攻撃が交錯する熱戦を制す。

決勝は、本大会3回目の優勝を目指す絶対王者、187cmの長身から怒涛のよ

うに繰り出される攻撃に真つ向勝負し、会場が盛り上がる一戦となった。

判定負けするも身長差17cmとの真つ向勝負で、極真熊本の意地を見せた。

次回の全日本で雪辱をはらす事に期待。



【内柴副代表試合】

【準決勝】

【決勝】

